

# NCU

Information web magazine

# 春、

名寄市立大学での

# 出会い。



## Contents

- ・就職内定者インタビュー『内定者に聞きました』
- ・実習終了者インタビュー『教えて 名寄市立大学の学外実習あれこれ』
- ・施設紹介『名寄市立大学の実習室を紹介！』
- ・サークル紹介『Introductionサークル活動』
- ・新入生へメッセージ～名寄市立大学出身の本学教員に聞きました～
- ・編集後記『私の出会い。』

# 内定者に聞きました

名寄で学び、名寄で暮らすことを決めた4学科の就職内定者から、就活や

就職支援室の活用法、就活を迎える後輩へメッセージをお届けします！

## 栄養

内定先 たに内科クリニック(管理栄養士)  
高橋 朱音 さん



出身高校 北海道札幌啓成高等学校

栄養指導を通して疾病予防から関わることのできる栄養士に憧れがあり、小さな町で住民の方に寄り添った栄養指導がしたいと思っていました。

名寄は私にとって、とても住みやすい街なので、名寄で就職をしたいと思っていたところ、就職支援室で内定の求人を見せてもらいました。希望していた糖尿病や消化器系疾患を扱う診療所で、検診に来た方に栄養指導を行うので、理想通りだと思いました。10月に求人が出て、11月に内定をいただいたので、周りで就職が決まっていた中不安はありましたが、結果的にタイミングはすごく良かったです。栄養士業務と併せて医療事務も経験できるので、栄養士としてだけでなく色々なスキルが身に付けられると期待しています。

社会人になったら、栄養士の力も身に着けながら、色々なことに挑戦し続けます。前々から名寄で就職したいと思っていました。私にとって名寄は住みやすい街なので、大学の4年間で名寄の生活を終わらせるのもつたいないと思っただけです。

地域の人を支える地域福祉に興味があり、就職活動は社会福祉協議会一本に絞って活動しました。職種としては、総合職で、具体的な配属はまだ決まっていません。また、精神保健福祉領域でも人の役に立てるよう、精神保健福祉士も取得する予定です。

就職活動としては、4年次実習前の9〜10月に就職支援室に行きました。たまたま11月の実習に行く直前に求人が出て、実習後すぐに就職支援室で練習してもらい、面接に臨みました。支援室では、入室から質問の受け答えまで、一通りアドバイスしてもらいました。本番では独特の緊張感があり、練習の成果すべてを出すことはできませんで

## 社会福祉

内定先 名寄市社会福祉協議会(社会福祉士)  
牧野 みゆき さん



出身高校 秋田県立雄物川高等学校

け、常にスキルアップしていきたいです。内定先では、住民の方を対象に、公開講座を開催し啓発などを行っています。大学の授業で、地域のイベントポスター発表をしたときに、作成から発表まですごく楽しかったので、そういうことにも挑戦していきたいです。行政栄養士を目指す人は、各市町村によって試験の方法が違うので、よく確認し勉強を進めると良いと思います。また、栄養士は歯科医院やスポーツ栄養士など幅広い就職があります。職種を限定してしまうと、どこかでつまづいたときに何もなくなってしまうので、特に1〜2年生の時には職種を限定せずに、幅広く知識を得て選択肢をたくさん持つようにすると良いと思います。

したが、地域の特色を押さえて面接に臨めたのは良かったです。求人情報は支援室とハローワークから連絡をもらいました。大学を通さない施設や法人の求人情報はハローワークから出ることが多いので、より多くの情報を拾うためにもハローワークへの登録はお勧めします。また、面接でも大事な「言葉遣い」は、すぐに直せるものではないと思うので、普段から気を付けるようにしていました。社会福祉学科は現場実習などでクライアントとの面接練習も多いので、そういう機会を逃さず口頃から練習するのいいと思います。4月から社会人として働くことになりませんが、自分が今学生として感じていることを忘れないようにしたいです。「誰かの支えになりたい」という福祉の道に入った時の想いを、いつまでも大切にしていきたいです。

## 社会保育

内定先 名寄市(保育士)  
林 菜々花 さん



出身高校 北海道名寄高等学校

高校から名寄で過ごし、就職は名寄でいたいと思っていました。早くから名寄市立総合病院を志望していたので、1年生の時から奨学金を借りました。元々、子どもに関わる仕事がしたいと思っていました。祖父を市立病院で看取ってもらった時、看護師さんが私たち家族へとても温かい対応をしてくださり、そのことをきっかけに、子どもだけではなく、そのご家族にも深く関わる仕事をしたと思い小児科の看護師を目指すようになりました。

まずは、新人看護師として急性期の子どもへの関りや疾病の知識をしっかりと身に着けたいです。小児科の入院は、ご家族の不安も大きく、特に長期入院する難病の子も達やご家族を幅広くケアできる看護師になりたいです。就職活動では支援室を活用し、主に面接練習と小論文対策を行いました。面接の入退室など基本的な事項を教

一般企業、公務員、一般職・保育士等、学科の中でも一番多くの就職試験を受けた方だと思っています。名寄は生まれ育った良い街ですが、反面、都会での生活への憧れや、保育士以外にもやりたいことがたくさんあり、3年生の1月から半年程就活をしていたので、焦りもありました。本当に自分が保育士に向くのかわからなくなったり、時期もあったのですが、そんな時、学科の先生が何度も相談に乗ってくれました。さらに、知り合いの看護師さんに「対人職は大変だけど、それ以上のやりがいがある」「ステップアップには現場経験が絶対必要」とアドバイスをもらい、まずは経験してみることに大事だと思いました。また、自分は子どもが好きで大学に入ったことや、保育士は常に元気で明るくあるべきと思っていましたが、実習先の保育士さんが落ち着いた様子で

子どもと接しているのを見て「こんな保育士さんになりたい！」と感じ考えが変わったことも、改めて思い出しました。学科の先生が「卒業してもいつでも相談においで」と言うので、さうしていただくことも後押しになり、住み慣れた土地で保育士になろうと決めました。就職活動では、支援室の方にもとてもお世話になりました。エントリーシートや履歴書を何度も添削していただき、オンライン面接用のアドバイスもしてもらいました。これから就活を迎える人は、他の人や就職先が良く見えて悩むこともあるかと思いますが、自分で決断することは自分を支える強みになります。迷った時には、自分の決断は正しいと信じて進んでほしいです。

## 看護

内定先 名寄市立総合病院(看護師)  
塩崎 沙也乃 さん



出身高校 北海道名寄高等学校

えていただき、小論文は課題に沿って何度も添削していただきました。また、先輩が受験した医療機関の採用試験の傾向や対策も丁寧に教えてもらえるので、積極的に支援室を利用して良かったです。「口ナの影響で、インターン等に行けていない人もいると思うので、学科の先生や支援室からの情報を有効に活用すると良いと思います。先輩の記録を参考にさせてもらい、面接練習は納得いくまで付き合ってくださいませ。また、書類の提出等、×切りのあるものは、ギリギリになると焦りでミスも増えてしまうので、余裕を持って行動することをおすすめします。



教えて

# 名寄市立大学の

# 学外実習あれこれ

## 未来の専門職へ向けた

## 4年生からのアドバイス



栄養学科4年  
山田 春菜さん



給食経営管理論実習は旭川の特別養護老人ホームで1週間行いました。調理室に入り、調理・配膳をしたり、実習前に実習生同士で考えたお菓子のメニューをデイスービスの利用者さん用に作ったりしました。

臨床栄養学臨地実習は、名寄市内の医療機関で2週間行いました。調理室を見学したり、管理栄養士の方と一緒に患者さんを訪問したり、カンファレンスを見学しました。

公衆栄養学臨地実習は、美深町の保健センターで1週間行いました。乳幼児健診・訪問指導・健康づくりの集会へ参加したり、健康講話をセンターの職員さんに向けて行ったり、毎日色々な業務に携わらせていただきました。

医療機関での実習では、管理栄養士としての勉強を直しましたが、過去に学んだ疾患や血液データの基準値等忘れてしまっていることがありました。また、様々な疾患の食事療法や、栄養に関する法律や制度についても予めもっと身に付けておけばよかったと反省しました。保健センターでも、事前の調べものには苦労しましたし、講話のための資料準備も大変でした。毎日多くの実習内容があり、ハードではありましたが、たくさんの方と触れ合うことができたので、どの実習もとても良い経験になりました。

また、社会人としての報告・連絡・相談の重要性、挨拶・礼儀をしっかりとすること、基本的なことを学ぶこともできませんでした。自ら学ぶ姿勢や判断して行動することがとても大事だと気づくことができました。

3年生の時に、名寄市立総合病院で臨地実習を行いました。実習に向けて、普段の講義から大事だと言われるところはしっかりと押さえました。事前学習もしましたが、気持ちの準備も大事で「頑張ろう」と気合を入れて行つたのを覚えています。

実習中は、看護記録に苦労し、深夜までかかることもありました。また、評価に繋がることばかりに気を取られ、患者さんに意識を向けられていないことがあり反省しました。ですが、実習の本質を理解し、何のため誰のための看護なのかを再認識することが出来たと思います。患者さんと接することは想像以上に難しかったですが、患者さんの痛みや辛さを理解し、何かしたいという気持ちになることができ、これが命を預かる現場なのだと感じました。

4年生では、コロナの影響で、5〜6月は自宅で遠隔授業を行い、対面が可能になってからは学内実習を行いました。遠隔授業では、先生が患者さん役になった映像を見て、看護過程の記録を作り提出していました。学内実習では、先生が患者さん役になり、実習室でシミュレーションを行いました。先生方が色々な工夫をしてくださり、一人一人に細かく指導してくださったので、学びが深まりました。

実習に行くまでは、どんな看護師になりたいかというのが漠然としていましたが、実習に行き理想とする看護師を実際に目で見ることで、明確な目標ができ、モチベーションが上がると思います。また、実習は3〜4人のグループで行います。普段からしっかりとコミュニケーションを取りチームワークを形成しておくことも大事だと感じました。

看護学科4年  
加藤 珠さん



社会福祉学科4年  
畑山 紗英さん



日常生活とは異なる病院生活での支援に興味があり、社会福祉士の現場実習先は医療機関を志望しました。実習先は、学校の先生と面接などをして決めます。希望する実習先に行けるよう、自分の意志を伝えられるようにしておきました。また、当然ですが、普段の勉強もしっかりとやっています。

事前学習では、患者さんとその家族へのアプローチ等、実習で想定されることを教科書や論文からまとめました。すべてが実習に繋がるわけではありませんが、集中的に社会福祉を学ぶ良い期間になりました。

実習中は、何度か実習指導者の方と模擬面接をしていたとき、最終的には患者さんと面接もさせていただきました。実際に働く姿を見て、人と人の繋がりを感じられる温かい一面を見ることが出来ました。先輩や上司が先導していく姿を見て「一緒に働きたい」と憧れました。

社会福祉士の実習では、周囲の人に遠慮して質問や相談ができず、面接練習でもきちんと気持ちを伝えきれなくて、悔しい思いをしました。自分の長所は「自ら考え行動できる」とだと思っていましたが、一つずつ周囲に相談しながら行動すべき場面では、逆に短所となってしまう、落ち込むこともありました。その経験を活かすため、次の精神の実習では、自分の気持ちを伝えながら、根拠を持って行動することを学びましたし、常に気持ちを切り替えることを意識しながら実習に臨むことが出来ました。

現在は社会福祉士と精神保健福祉士の国家資格取得に向けて勉強をしています。卒業後は、医療の現場で、社会福祉士として、患者さんの生活について考えていきたいと思います。

実習では、まず3年生の時、保育園と施設で主に見学・観察実習をしました。その後、幼稚園実習で指導案などを作る責任実習になります。4年生になり2回目の保育実習をしましたが、1回目と同じ実習先を選びました。

最初の保育実習は参与観察のみでしたが、施設実習では朝ご飯の準備、遅番、宿直もあったので、時間の調整に苦労し、幼稚園実習では、1日の指導案の本数が多くとても苦労しました。ですが、両実習共に、熱心に指導していただいたので、その後の保育園の実習に活かすことができました。実習日誌についても、初めのうちは書くことに慣れていなくて苦労しましたが、幼稚園実習では徐々に慣れていきました。

保育園の実習では、日常では関わることがない0〜1歳児の子どもに対して、おむつ替えやミルクをあげたのがとても良い経験になりました。また、自分が考えたゲームを子どもたちが楽しそうにやってくれた時はすごく達成感がありました。

事前に計画していたことが計画通りにできなかったこともあったので、指導案をあらかじめ先生に相談したり、教材はある程度作って持っていくなど、事前準備の重要性を学びました。

実際に実習に行ってみると、想像とは違い大変なこともたくさんあり、実習中に自信を無くしてしまうこともありましたが、保育園の方が相談に乗ってくれたり、大学の先生が話を聞いて励ましてくれたおかげで、自信を取り戻すことができました。

その経験から、保育園で養護や保育を必要としている子どもとその家庭を支援したいと思うようになり、保育士になることを決意しました！

社会保育学科4年  
多田 有貴子さん



# 名寄市立大学の**実習室**を紹介！

5号館



本学の様々な実習室で

専門職を目指す学生が、基本・実践力を身に着けます！

3号館



2号館



1号館



## 給食経営管理実習室

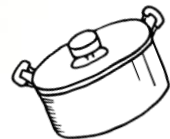
### 調理室

HACCP(ハサップ)方式での衛生管理に対応しており、大量給食調理を実践することができます。



### 実習食堂

調理室に隣接しており、調理後は実食できます。



## 介護演習室



介護現場で実際に使用する車イスや介護ベッド、寝具などをを用いた演習を行えます。

## 臨床栄養実習室



フードモデルや特殊食品、測定用の医療機器等があり、病態別の栄養管理や栄養アセスメントに関わる実習などを行います。

## ソーシャルワーク室



カウンセリングやコミュニケーションのスキルを実際の現場の面接室を再現して高めることができます。

## 模擬保育室



実際の保育現場を想定した教室で、各種のおもちゃをはじめ、調理室・トイレ・授乳室なども備わっています。

## 理化学実験室



食品などに含まれる栄養素を詳しく分析したり、一般的な実験器具や機材の取り扱いを学びます。

## 基礎・成人・老年看護実習室



ベッドメイキング・注射法・バイタルサイン測定など基礎的な技術を学びます。最新の心電図測定器や輸液ポンプなども数多く備えています。

## 表現演習室



鏡張りの広い空間で、ダンス練習やグループワークなど幅広い用途で使用できます。

## 音楽室



座学や演奏会などを行います。楽器庫にはギターやキーボードなどの楽器を豊富にそろえています。

## ピアノ練習室



12室のピアノ練習室は、講義だけでなく、個人練習にも使用できます。

## 小児・母性看護実習室



小児・母性領域に特化した実習室で、小児モデルや各種体験セット・沐浴槽などを完備しています。

# Introduction サークル活動

大学生活を充実させる要素のひとつ、サークル活動!

最高の仲間と出会い、一緒に思い出を作りましょう!



2020.1



2016



2019.7

## ～よさこい～ (北鼓童 & 名寄市立大学)

部員数: 63名  
活動日: 毎週火曜日・水曜日・金曜日  
場所: 2号館多目的ホール  
受賞歴: (近年) 2018年YOSAKOIソーラン祭り  
セミファイナル審査 優秀賞

演舞の最中はもちろん、練習中もみんなとても明るいです! 学年学科問わず仲良しで、イベント前にはお互いを高めあいながら練習に励んでいます。遠征などもあるので、より絆が深まり、サークル時以外でもたくさん交流があります!



## ～やっぱりYOSAKOIソーラン祭り!～

毎年6月に札幌で行われる『YOSAKOIソーラン祭り』でファイナルへ出場することを目標にしています!

また、よさこいの楽しさを多くの人に知ってもらえるよう、道内各地のイベントへ参加し、踊りを披露しています。

## ～コロナ禍での活動～

6月の『YOSAKOIソーラン祭り』が中止になって以降、イベントは全て中止になってしまいました。今は練習もできていない状況ですが、2021年度どのような活動ができるかみんなで話し合いを重ねています!

## ～踊りだけじゃない学びがある～

サークル活動を行う中で、他大学の学生や、地域の方々と交流する機会が増えるため、踊りの上達だけでなく、今後社会生活を送る上での社会的スキルも学ぶことができます。そして、そこで出会った人々と、踊ることの楽しさを共有することで、同じ目標に向かって頑張る仲間がたくさんできます!



2019.7



2019.7



2019.6

## ～目指すは金賞!～

毎年夏に行われる全日本吹奏楽コンクールで、全道金賞を目標に練習に励んでいます。また、定期演奏会や地域での演奏会では、いつも吹奏楽サークルを応援してくださっている方々に感謝を伝えられるよう心を込めて演奏しています。本番までの過程を大切に団員みんなで試行錯誤しながら演奏者側もお客さん側も楽しめる音楽を目指しています!

## ～大切な仲間と感じられる充実感～

演奏会の構成、楽器運搬、演奏会までの練習日程など、全て団員内で考え話し合い、進めています。時には悩んだりうまくいかなかったりすることもあります。現状で何ができるか、どうすれば楽しく活動できるか、たくさんの方を仲間と考えるその過程に、学べるがたくさんあります。本番ではお客さんの前で大好きな吹奏楽を仲間と演奏できる喜びを感じる事が出来るので、充実感でいっぱいです!

## ～コロナ禍での活動～

2020年度は例年のような活動が出来ませんでした。前期は活動することが出来ず、後期は感染対策のため、活動時間の短縮、換気、消毒、人数制限、人との距離を取る...など工夫しながら12月に予定していた定期演奏会に向けて練習を進めていました。演奏会は中止となってしまい、お世話になった4年生に感謝を伝える場もなく、また、新しく入団してくれた1年生と関わる機会も少なく残念な気持ちでいっぱいですが、1日も早く感染拡大が収まり、またみんなで楽しく活動できる日が来ることを願っています!!



現在1～4年生まで総勢42名で活動しています! 学年・パートを越えて和気あいあいと楽しく活動しています。サークル活動以外でも仲が良く、サークルを通してかけがえのない仲間と出会うことができます!



2019.12

## 名寄市立大学吹奏楽団 定期演奏会

## ～吹奏楽団～

部員数: 42名  
活動日: 毎週月曜日・木曜日  
場所: 2号館211教室212教室  
受賞歴: 第64・65・66回全日本吹奏楽コンクール全道大会  
大学小編成の部 3年連続金賞受賞  
第67回全日本吹奏楽コンクール全道大会 大学小編成の部  
銀賞受賞  
第40・41回全日本アンサンブルコンテスト全道大会  
金賞受賞  
第42回全日本アンサンブルコンテスト全道大会 銀賞受賞



2016



2019.8

# 新入生へメッセージ

## ～名寄市立大学出身の本学教員に聞きました～

- ① 本学の志望動機 ② 卒業生だからこそ伝えられる名寄・本学の魅力
- ③ 学生時代の過ごし方 ④ 新入生へ一言



社会福祉学科 准教授  
傳馬 淳一郎

① 社会人を経験してから保育士資格を得るために、当時の「市立名寄短期大学」に進学をしました。公立短大で学費も安く、保育士・幼稚園教諭の両免を取得でき、地元からも近いので志望に至りました。

② 私が入学した当時から学生の雰囲気は他と違ったと感じていました。実習で他の短大等から来る学生と一緒にいても、保育や福祉に対する向き合い方が違ったと記憶しています。あれから20年近く経ちますが、その校風や大学の雰囲気は今でも受け継がれています。

③ 保育を学ぶことを夢見て進学してきたので、とに

かく講義や演習、実習が刺激的でした。空き時間も仲間と保育を語り、絵本や手遊びを披露しあい、あっという間に卒業になっていました。

④ 大学時代は、高校までの学びとは全く異なります。自分の学びたい学科で、学ぼうとする専門性を追求し、目指す専門職をつきつめることもできます。進路に迷うこともあるかもしれませんが、学生時代は、長い人生の中でもほんの一瞬です。コロナ禍の中ではありますが、学生時代の今しかできないことを、ぜひ、満喫してください！



① 経済的に自立した職業に就きたくて悩んでいた時、担任の先生から本学を勧められました。当時、道内唯一の看護系短期大学で、市立であること、寮があることが決め手で、地元の旭川にすぐ帰れるのも動機の一つでした。

② 名寄の飲食店はどこも美味しいですし、昔から続くお店がたくさんあり街並みが変わらないのも魅力です。本学の魅力は、人とのつながりの強さ・深さです。みんな一人暮らしなので、学内外一緒に過ごすことが増え、その時間が長い分つながりも強くなります。また、卒業後も教員のフォローが続くのも心強いです。働き始めると、楽しさもある分、それ以上に辛いことも多く、悩んだ時は、大学に来て相談

し、時には叱ってもらいました。

③ 勉強とアルバイトが中心でした。友達と日常の中で講義の話をしたり、家に集まって勉強したり、看護技術を実習室で即実践して、できなければ先生を捕まえて教えてもらいました。生活の中で看護に繋がることがたくさんあったと思います。生活費のため週の半分以上アルバイトをしていました。皆さんはバランスよくすることをお勧めします。

④ 様々な事に挑戦する4年間にしてください。対人援助職になるため、挑戦の分、失敗もたくさんありますが、その経験も含め就職後の糧になります。色々経験して、多くの視点を見つけ、楽しい名寄生活にしてください。



看護学科 助手  
中島 泰葉

① 道内で栄養学を学べる公立大学で少人数のアットホームな環境が魅力で志望しました。

② 雪質も良くウィンタースポーツにはとても良い環境ですし、空気が澄んで星がとてもきれいです。食物の産地が近く、寒さを利用した野菜は甘く感動的です。本学は学生数が少ないので学科を越えて繋がりを持って、ゆったりと時間が流れ、学業や研究・趣味に没頭できます。地域の方々と交流しながら学べて、サークルや卒業研究等でも温かく協力的です。

③ 入学後すぐケーキ屋さんでアルバイトを始め、食物がどのように育ち、加工され口に入るのか体得したくて有志で酪ペジサークルを作りました。道外出

身の同級生が約半分で驚きました。2年生になると専門科目も増え、学内実習でバイキング給食など大量調理をしたのが印象的でした。3年生では学外実習や動物実験、栄養教諭の科目など実践的な授業が増えました。友人と励まし合い試験やレポート提出を乗り切りました。アルバイト代を貯めて海外旅行にも行きました。4年生では食品化学の研究室に入り、卒業研究・就活・国試勉強と忙しく充実した1年でした。

④ 講義、サークル、アルバイト、1人暮らしなど新しい体験も多いと思いますが、同じ志を持つ仲間を大事に、充実した4年間を過ごしてください。



栄養学科 助教  
下坂 彩



社会福祉学科 講師  
江連 崇

① 浪人を考えていた時、進路指導の先生から「北海道の『ナヨセ』という街に大学が新しくできたから受験してみないか」と声を掛けられ、「北の国から」が好きだったこともあり受験しました。振り返ると当時は社会福祉を学びたいという気持ちよりも北海道で大学生活を送りたいという気持ちの方が大きかったように思います。

② 小さい大学、小さい街だからこそ、自分の行動で社会が変わる瞬間が目に見えることもあり、これは都市部ではなかなか無いことです。

③ 3年生からたくさん本を読むようになりました。きっかけは1冊の本との出会いで、なぜ手に取ったか今では覚えていませんが、まともに本を読んだこともない私が夢中になり一気に読みました。この本をきっかけに福祉の歴史に興味を持つようになり、現在はその研究をしています。

④ 学問は暗記するものではなく、「問い」を持ち「答え」を見つける営みです。生活の中に学問はあります。大学生活の中で色々な経験をして、自分の人生のテーマを見つけてみてください。

い社会人として大切なことが自然に養われたのは、この地域だからこそ大きな魅力です。

③ 学生時代は、学業や友人との時間、趣味、アルバイトを日々楽しみました。友人とドライブしたり、長期休みには一人旅もしました。実習や国試勉強で疲労と不安がある時は、息抜きに下宿の後輩と交流したり、同級生と外食に行き、心身共に無理なく大きな課題を達成することができました。

④ 日本最北端の公立大学！都会にないものが、ここにはあります。興味のあることにどんどん挑戦し学生生活を楽しんでください。



① 進路で悩んでいた時、担任の先生から北海道に公立大学が新設されると聞き興味を持ちました。「医療従事者として役に立ちたい」という目標と、「自然に囲まれ自分のペースで勉強や生活をしたい」という希望に合い、受験を決めました。

② 「市民とのつながり・市民の温かさ」です。学生生活の中では同級生・先生以外に、様々な方と関わりがあります。下宿の管理人さんご夫婦、アルバイト先の店長さんご夫婦、ボランティアで出会う方々など、多くの出会いに恵まれました。温かいサポートを受け、貴重な体験をさせていただき、大学だけでは学べな

い社会人として大切なことが自然に養われたのは、この地域だからこそ大きな魅力です。

③ 学生時代は、学業や友人との時間、趣味、アルバイトを日々楽しみました。友人とドライブしたり、長期休みには一人旅もしました。実習や国試勉強で疲労と不安がある時は、息抜きに下宿の後輩と交流したり、同級生と外食に行き、心身共に無理なく大きな課題を達成することができました。

④ 日本最北端の公立大学！都会にないものが、ここにはあります。興味のあることにどんどん挑戦し学生生活を楽しんでください。



看護学科 助教  
上原 主義



看護学科 助教  
室矢 剛志

① 高校時代の友人が、旧短大に入学したことがきっかけで名寄市を知りました。友人から新たに4年制大学として開学する話を聞き、いくつかの大学を受験した中で、自分が大学の歴史を築いていくところに魅力を感じ、本学を選びました。

② 学生時代からずっと、市民の方との距離が近いと感じており、それを活かした教育を受けられる環境です。また、教員と学生の距離も近く、日頃の悩みから学習面の悩みまできめ細かく相談に乗ってもらえます。

③ お金を貯めて車を購入し、名寄市や周辺市町

村の魅力を感じながらドライブに出かけていました。また、名寄市内のイベントに参加するなどして市民の方と交流する機会を楽しんでいました。

④ 本学は、都市部の大学と比べて、人と人の距離が近く、最初は戸惑うかもしれませんが、積極的に大学や市内の行事に参加することで、様々な人生経験を積むことができると思います。様々な価値観に触れる機会を通して、専門職としても成長してください。



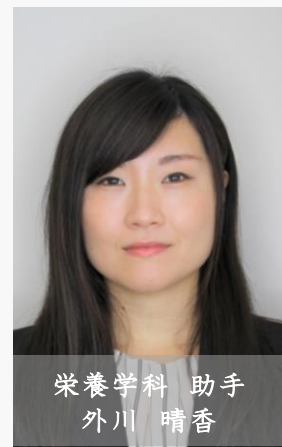
① 道内で管理栄養士の資格が取れる唯一の公立大学だったので受験しました。

② 本学は1クラスが少人数なので、高校のような感覚でじっくり授業を受けられます。4学科共通科目もあり、他学科との交流が多いのは、この大学ならではです。また、多くの学生は大学の近くで一人暮らしなので、友達の家との行き来が簡単にでき、飲食店がほぼ徒歩・自転車圏内にあるのも魅力です。

③ 1年生の頃は一人暮らしの生活費とパソコン購入のためアルバイトを3つ掛け持ちしましたが、勉強が疎かになり2年生から減らしました。そこからは勉強、ア

ルバイト、プライベートを両立できたと思います。苦学生だったので外食や旅行などはたまにしか行けず地味な生活でしたが、夏はソフトボール、冬はスノーボードを楽しみ、それなりに充実していました。

④ 4年間は長いようであっという間です。また、自由な時間が多くあるのは大学生の特権です。ぜひ楽しく、有益な大学生活を送ってください。困ったことがあれば、学習についてはもちろんのこと、生活やアルバイトのこと等何でもお話を聞きますので、ぜひ気軽に話しかけてください。



栄養学科 助手  
外川 晴香



# 私の出会い。



看護学科 2年 しんや かりん 新家 花梨 さん

本誌の作成にあたり、多くの方にご協力いただき誠にありがとうございました。今回のテーマは「出会い」。ここで、表紙制作に至った学生と教員の1つの「出会い」をご紹介します。

表紙を飾ってくれたのは、看護学科2年生の新家花梨さん。

中学時代に、授業で地元猿払村の子育て支援事業の赤ちゃん抱っこ体験に参加。地域住民の健康づくりに関わる『保健師』に憧れ、志すようになります。その当時、猿払村の室矢“保健師”（現看護学科助教）もスタッフとして参加。5年後、2人は『学生』・『教員』として名寄市立大学で再び出会いました。

新家さんは「過去に出会った人と、違う場所・立場で再び出会う縁をととても不思議に感じています。」と語ってくれました。

何気なく出会う人、景色、出来事。その一瞬で将来が決まったり、思いがけず再会したりすることは不思議で興味深いことです。これから皆さんを待つ出会いが素敵なものになりますように。

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。